

美祿市嘉万

嘉万の歴史の息吹を感じるコース
～古代遺跡と神社・花めぐり～

中級



距離
4.8 km



時間
約1時間30分



歩数
約8,080歩

①嘉万公民館



駐車場あります

②水神神社



③巖島神社



④嘉万日吉神社



⑤嘉万史跡公園

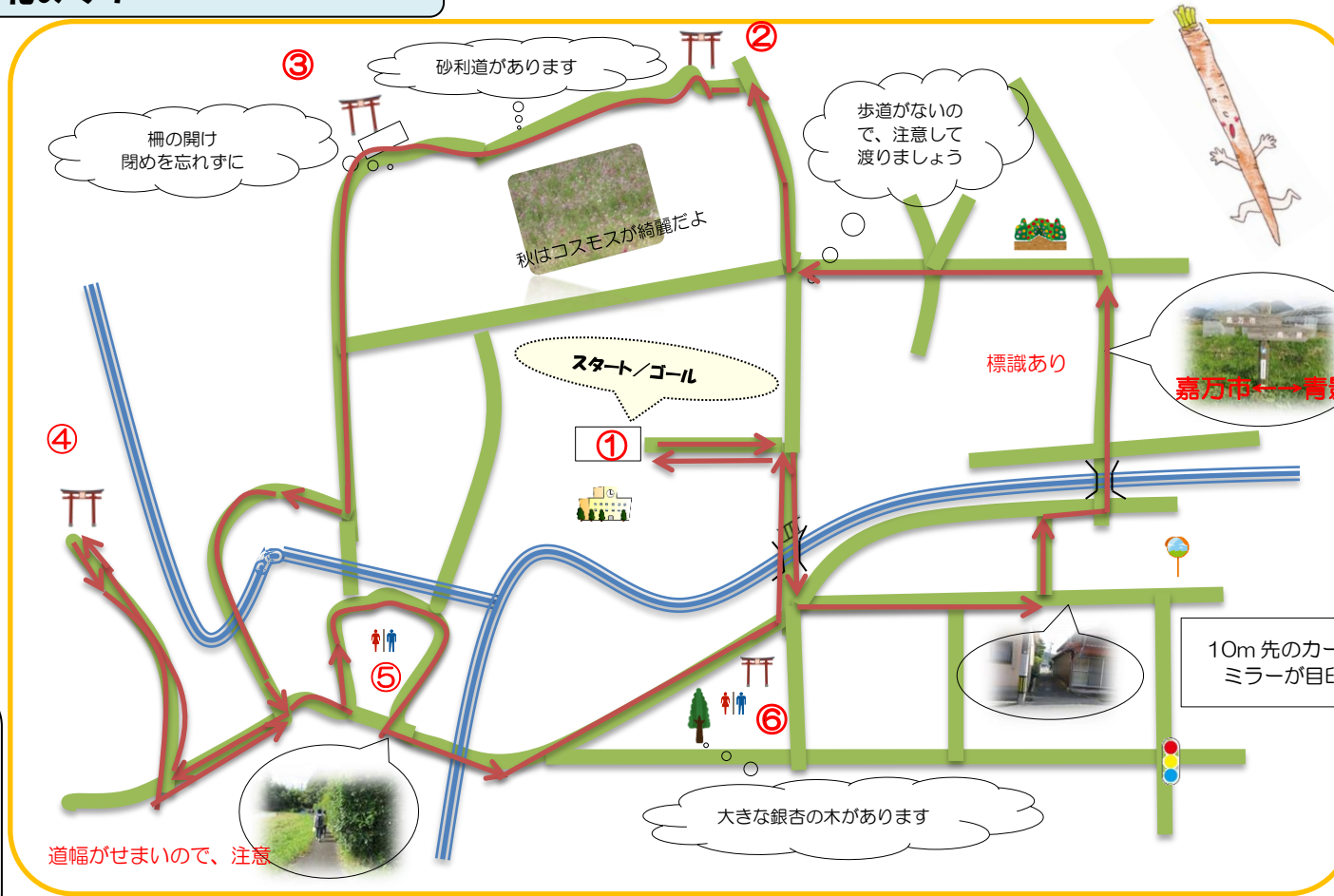


トイレあります

⑥天満宮



トイレあります



嘉万史跡公園
縄文時代から江戸時代にかけての複合遺跡「国秀遺跡」を復元し、市民が活用できるように整備された公園です。この遺跡は、銅や鉄の塊、鉱石や金属をを溶かすための炉が確認されていて、「金属生産」を専門に行っていた職能集団の集落と推定されています。

嘉萬 日吉神社（案内碑より）

滋賀県比叡山王権現日吉神社から延暦21年（802）勸請後、夢神告により豊西群司俵秀盛が石楠山に社殿を建立。文治2年源頼朝の代参として長門守佐々木高綱社参後和泉守政影上総介直政等の社参もあった。応永13年（1407）鷲頭弘忠築城のための神域を尊び、現薬王山麓に社殿を造営。文亀元年大内義隆の父興月次の祈禱を行い、拝殿造営神興を寄進。永禄7年（1564）毛利元就立願成就し、長門国日吉神社として再建。以後明治まで例祭日毎に毛利藩主の代参として31名が参詣盛事を極めた。武士の守護神としてだけではなく美祢郡の地主神 産土神として、また霊験あらたかな日吉山王権現として21の末社もあり。群中はもちろん群外の進行をも一途に集めた。慶長6年 回禄の厄で鳥有に帰したが明和2年（1765）毛利重就社殿造営。後 老朽のため大正5年氏子一丸となり現社殿を建立。今に至る。

案内碑の下にある石碑に嘉萬俗謡が書かれています。

碑文 のーさんの つうまのきに るうさが びきさん があさった

さんのーの まつうのきに さるうが さんびき さあがった

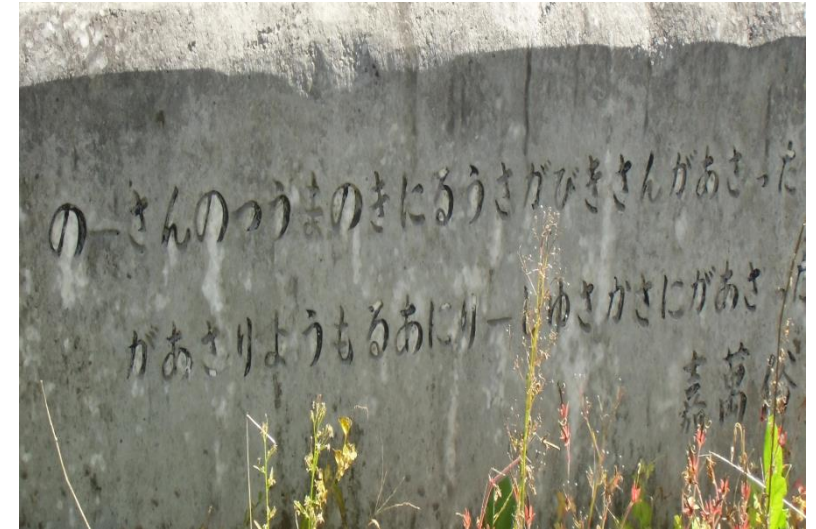
(山王の 松の木に 猿が 三匹 下がっていた)

碑文 があさよりようも るあに りーしゆ さかさに があさった

さあがるようも あるに しーりゆ さかさに さあがった

(下がりようも あろうに 尻を 逆に 下がっていた)

(旧称 さんのうごんげん 山王権現)



言葉遊びになっていて、これを歌いながら農作業を行ったそうです。

嘉萬日吉神社の境内に昔大きな松の木があり、猿が群になってやってきたそうです。猿は神様のお使いです。春季、秋季の大祭には幟が立てられ、幟旗に猿のマスコットが吊るされます。日吉神社社殿に向かって右側に猿の石造りがあります。

